

【西区】平成31年第1回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	平成31年2月5日 16時00分 ～ 17時24分
場 所	西区役所4階4A会議室
出席者	<p>【座長】清水富雄議員</p> <p>【議員：2名】清水富雄議員、上野盛郎議員</p> <p>【西区：14名】寺岡洋志区長、早川恵庸副区長、宮川淳一消防署長、塚本光俊福祉保健センター長、平本雅典福祉保健センター担当部長、菊地健次土木事務所長、ほか関係職員</p> <p>【局説明員：1名】市民病院管理部新病院整備課 肥田雄三新病院整備課長、ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 平成31年度 西区編成予算（案）について</p> <p>2 平成31年度 西区編成予算（案）主要事業説明について</p> <p>3 その他</p>
発言の 要 旨	<p>【平成31年度 西区編成予算（案）について】</p> <p>【平成31年度 西区編成予算（案）主要事業説明について】</p> <p>上野議員：ラグビーワールドカップ2019について、局の事業を待つだけではなく、自発的積極的に盛り上げて行って欲しい。区民の皆さんに情報はしっかりと伝えてほしい。また、アフリカ会議も同様。ことりっぷの英語版を作成する際、内容を外国人向けにアレンジするのか、それとも翻訳に留まるのか。</p> <p>村上区政推進課長：現在の内容を翻訳したものを想定している。</p> <p>清水議員：1ページの今回新たに設けられた統合事業費について、詳細を説明してほしい。</p> <p>永峯総務課長：自主企画事業費の総額を維持したまま、これまで自主企画事業費に計上していた広報よこはまの発行経費や区民相談事業など、18区共通の事業で、かつ区の裁量が少ない事業を分離し、新たに統合事業費として計上した。これにより、自主企画事業費の実質増を図った。</p> <p>清水議員：約1,700万円の増額によって、多くの既存事業を拡充するほか、新規事業も計上しているので、しっかりと取り組んでほしい。6ページの西区地域のつながりを育み強める補助金について、実績を教えてほしい。</p>

村上区政推進課長：平成30年度は3団体に交付している。各団体の取組事例は、地域情報紙の発行、こどもたちの宿泊体験やイベント、クリスマス関連のイベントなど。

清水議員：3団体のそれぞれの構成はどうなっているか。

村上区政推進課長：自治会・町内会と地区社会福祉協議会、自治会・町内会と地域の交流・居場所づくりを行っているNPO法人、自治会・町内会と商店街、という構成。

清水議員：7ページに関連する内容として、高齢化が進んでいる現状において、成年後見人というものを重要な課題と感じている。ひとり暮らしで親族がいない場合、弁護士などが成年後見人になるが、後見にあたっては、信頼の輪というものがとても大事だと思っている。

山田高齢・障害支援課長：成年後見人は、高齢者のほか、障害者もある。成年後見人になってくれる人がいない場合、区長が申立を行い、裁判所が弁護士なども含め一番相応しい方を指定することになる。区役所や地域ケアプラザでいつでも相談できる体制をとっている。

清水議員：やはり大事なものは、信頼関係。後見人による金銭の搾取などといった事件も新聞報道されているので、西区の区民を守るという意味でも、後見人の選定をしっかりとお願いしたい。

山田高齢・障害支援課長：区長申立を行う際は、注意深く選定し、信頼できる人材を推薦していきたい。

上野議員：9ページに関連する内容として、障害児・者について、西区の実態把握の状況を教えてほしい。

山田高齢・障害支援課長：西区では、障害者施設だけでなく、地域ケアプラザなども含めた施設等で地域自立支援協議会を設けており、当該協議会において防災も含めた情報交換を行うなど、連携を取りながら実態把握を行っている。

上野議員：寝たきりの高齢者など支援を必要とする方の避難対策などについて、自治会・町内会における個人情報の管理など、議論があると思うが、区としての今後の考え方を教えてほしい。

山田高齢・障害支援課長：要援護者の方については、地域防災拠点単位で要援護者名簿を作成しており、災害発生時は地域防災拠点に提供することになっている。また、区役所でも援護班が高齢者施設に安否確認を行うなど、様々な方法で安否確認を行う体制になっている。

上野議員：生活困窮者自立支援制度の関係で、資料11ページの表は、横浜市全体の実績数値なのか。

岩井生活支援課長：相談利用実績は、西区の実績数値。

上野議員：平成27年に開始してから現在に至るまでの所感を聞かせてほしい。

岩井生活支援課長：開始当初は、制度の周知が充分でない面もあったが、現在は周知も進み、年3回の連絡会議を通じて、相談機関等と連携が深まってきている。地域の相談機関や庁内他課から相談者を繋いでもらう事例が増えている。

上野議員：制度開始以降、多くの相談が寄せられているようだが、すぐに解決できるものではないので、支援中の相談者が年々蓄積している状況だと思う。更に、生活困窮に高齢化も加わり、二重、三重に厳しい状況だと思うが、しっかりと対応してほしい。

清水議員：街中の商店向けに作成した認知症ガイドについて、報道で取り上げられるなど良い評判を聞いているが、作成にあたって作り込んだ部分など教えてほしい。

山田高齢・障害支援課長：専門の医師、支援者、地域ケアプラザの職員など、認知症への理解が深いメンバーで検討、作成した。また、商店主に対して、認知症の方が来店した際に困ったことに関するアンケート調査を実施し、実態に即した内容で構成した。

清水議員：西区から良い取組を発信するということと関連して、先ほども話があったラグビーワールドカップは、世界の事業を横浜で行うことで活性化に繋げるというものだが、ラグビーの楽しさに触れられる機会を作してほしい。

五月女地域振興課長：今年度は子供会と協力してこどもラグビー教室を実施した。来年度は小学校と協力してラグビー教室を開催する。

清水議員：14ページのベイバイクのポートについて、これまでは中区が中心だったが、西区にも増えてきた。現在の稼働率はどうなっているか。

五月女地域振興課長：今年度、西区の既成市街地にポートの設置を進めていたが、特に横浜駅東口は横浜市内でトップの稼働率となっている。また、西区役所のポートなども平均値以上の稼働率となっている。

清水議員：一人で乗用車に乗っている方が多いが、ポートが増えて利便性が高まれば自転車に乗ろうかということにもなってくるので、事業を通じてメッセージを発信してほしい。

【その他】

清水議員：バスのルートについて、交通局と協議中ということだが、新病院に立ち寄るバスが87系統のほかに増えるということか。

肥田新病院整備課長：87系統は、横浜駅から病院まで来るのは近いが、帰りが遠回りになるため、病院から横浜駅に帰るルートについて検討している。また、相鉄線沿線にお住まいの方がバスで来院しづらくなるので、改善策を協議している。

清水議員：現在、新市民病院の近隣で大規模工事を行っており、地盤への影響について付近の住民から心配の声が上がっているが、大丈夫なのか。

肥田新病院整備課長：当該工事の事業者と新市民病院の事業者で渋滞対策や工事の安全対策について月に1回連絡会議を行っており、問題がないことは確認できている。

清水議員：元々あった野球場を現病院跡地に整備することについては、いつ頃具体的な話が出てくるのか。

	<p>肥田新病院整備課長：30年度から31年度にかけて検討を行うので、形が見えてくるのは1～2年後になる。供用開始は35年度以降になる見込みである。</p> <p>清水議員：横浜駅周辺浸水対策に関連する岡野公園の工事のこともあり、広いグラウンドが必要なスポーツをされる方々が苦勞されるので、できるだけ早く整備してもらいたい。</p>
備 考	